平成24年度３R推進地方大会概要一覧

事　務　所　等	大　　会　　名	開催時期	開 催 場 所	内　　容	環境配慮の内容	備　　考	事務所等連絡先
北海道地方環境事務所	３R推進北海道大会2012	10月6日（土）	アリオ札幌　1階ハーベストコート （札幌市東区北7条東9-2-20）	1）３Rトークセッション ①３Rエコクッキング　②【３R事例発表】 2）循環型社会イメージ体験コーナー ①３R　エコバッグEXCHANGEコーナー　②３Rがみえ～るコーナー　③３Rワークショップ 3）３R情報コーナー ①クイズラリー＆アンケート　②パネル展示　③普及啓発資料配付	・会場設営備品はレンタル品を調達する。 ・会場の暖房温度は適切に設定する。 ・会場の照明は必要最小限度の使用にする。 ・来場者には環境負荷の少ない公共交通機関の使用を呼びかける。 ・会場内でのごみは分かり易く分別収集し適正に処理する。 ・印刷物は再生紙・エコインクを使用する。	北海道経済産業局、北海道農政事務所、北海道、札幌市、旭川市、三笠市（共催・後援予定）	環境省北海道地方環境事務所 環境対策課 TEL: 011-299-1952
中部地方環境事務所	平成23年度３R推進中部地方大会	平成24年10月20日（土）～21日（日）	富山県産業創造センター（高岡テクノドーム）　（富山県高岡市二塚３２２－５）	【とやま環境フェア2012】 一般消費者に、当事務所が定めた食品リサイクルの愛称「めぐりふーど」とそのシンボルマークを知っていただくとともに、食品リサイクル由来の農畜産物等を選択していただけるよう、食品リサイクルの取組を紹介するパネルなどの展示、食品リサイクルの認知度などに関するアンケート・クイズ、普及啓発グッズの配布などを行う。また、関連事業者に当事務所が定めた食品リサイクルの愛称「めぐりふーど」とそのシンボルマークを知っていただくとともに、関連事業者にこれを使っていただき、食品リサイクルへの取組が促進されるよう、北陸三県の排出事業者等に来場を促し、食品リサイクルの取組紹介などを行う。また、併せて、３R全般についてのＰＲも行う。	・ごみの発生抑制と分別 ・印刷物は再生紙を使用 ・イベント会場への搬入及び搬出に当たって、車両のアイドリングストップ等の実施	（同時開催行事等） とやま環境フェア2012	環境省中部地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 TEL：052-955-2132
		平成24年10月～11月	当事務所が定めた食品リサイクルの愛称「めぐりふーど」とそのシンボルマークを活用している事業者の各店舗	【めぐりふーどフェア】 一般消費者に、当事務所が定めた食品リサイクルの愛称「めぐりふーど」とそのシンボルマークを知っていただくとともに、食品リサイクル由来の農畜産物等を選択していただけるよう、食品リサイクルの愛称「めぐりふーど」とそのシンボルマークを活用している事業者の各店舗の店内において、食品残さ由来の農畜産物をＰＲし、販売、普及啓発グッズを配布、食品リサイクルの認知度などに関するアンケートなどを行う。			
		平成24年10月17日（木）、24日（木）、31日（木）、7日（木）、14日（木）	愛知県、岐阜県、三重県	【ＦＭラジオ局による連続プログラムの放送】 当事務所が定めた食品リサイクルの愛称「めぐりふーど」とそのシンボルマークについて、一般消費者等への周知を図り、あわせて食品リサイクル、３Rの取組について広くＰＲするため、地域のラジオ放送局ZIP-FMによる番組放送（CHECK THE MEGURI-FOOD、10：01～10：06）を行う。			
中国四国地方環境事務所	平成24年度３R推進中国四国地方大会	11月22日（木）～23日（金・祝）	広島県立広島産業会館　西展示場 （広島県県広島市南区比治山本町１６－３１）	①循環型社会推進をテーマとした講演 ②服のリユースを働きかけるイベント「xChange」 ③３R推進パネルの展示	・会場設営備品はレンタル品を調達する。 ・印刷物は再生紙・エコインクを使用する。 ・イベント会場への搬入及び搬出に当たって、車両のアイドリングストップ等の実施 ・イベントスタッフのマイボトル及びマイ箸持参等によるゴミの発生抑制	（同時開催行事等） エコ・イノベーションメッセ2012inひろしま ２０１２温暖化ストップ！フェアinひろしま 建設技術フォーラム２０１２in広島	環境省中国四国地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 TEL:086-223-1584
九州地方環境事務所	平成24年度３R推進九州ブロック大会 ―びんリユースを見直す―（仮称）	平成24年11月～平成25年3月	九州の各県全域	【九州地域びんリユースの在り方検討会の発足】 ・びんリユースに対する消費者の意識を成熟（今年度は特に意識をさせながら（回収店或いは自主集団回収のリスト化や酒造メーカーの取組事例集の公開等））する事業を実施し、中・長期的にはシステム自体の確立等により消費者が意識する事無く浸透・参加することを目標とする。 ・具体的には、九州・沖縄県下のびんリユース事業実施事例集の作成（事業者・地域・団体のびんリユースシステムを精力的に行っている実態調査と広報PR）をすると伴に、取組の拡大と深度化を図るため公表・イベント等を行う。 ・事務所と運営事務局との協議により、事例集を充実させるよう活用方策を検討し、継続募集と事業者・団体からの申請をもって定期的に表彰や掲載する仕組みをつくり（事務所ＨＰへの掲載検討委員会の設置などが考えられる）充実を図っていくものとする。	・他の事業者等への参考情報（びんリユースに限定せず、企業のＣＳＲに基づいた環境負荷軽減の取組等）を提供することを考慮すれば、能動的・自主的な取組みと受動的な取組みがあり、各主体に応じた様々な連携が考えられる。今年度は各主体への調査等（出来れば広報的なPR事業を含む）を主におき、当事務所の情報収集等を元に自主的な取組みが拡大出来るよう各主体への初動的な経費として使用する。	（協力予定団体等） 九州硝子壜商組合等 九州経済産業局（調整中） 主催各県（調整中）	九州地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 TEL：096-214-0328